日本一幸せな高齢化社会を目指す高齢者のための地域情報誌

※のさる…「天の恵みを与わる」の意味

のさる新聞

【名称】のさる新聞（無料）
【編集】花咲 実
【発行者】幸せの宝島ラボ
【所在地】天草市中央新町20−1
【電話】0969(23)8888
【制作】ノサリアル
《平成26年4月18日初版発行》

私の幸せは皆が笑顔で暮らすこと

老人会と社協が協力しながら、独居老人を見守る活動を長年続けている上天草市老人クラブ連合会婦人部長前川タマノさんの大好きな言葉は「その一言で」（左）

輝く熟年

上天草市老人クラブ連合会
前川タマノ　婦人部長

その一言で

その一言でやる気を起こし
その一言で夢を持ち
その一言で立ち上がる
その一言で腹が立ち
ほんの僅かな一言で
ほんの一寸の　一言で

その一言で励まされ
その一言で嬉しくなり
その一言で泣かされる
不思議に大きな　力持つ

（作者不詳）

大矢野の美女

ロシアのラストエンペラー ニコライ皇帝をもてなした 大矢野町出身の美女

道永　栄（エイ）
1860年生れ大矢野町出身

深いロシアとの縁

「オロシアおエイ」あるいは「稲佐お栄」と呼ばれた大矢野町出身の女傑をご存じでしょうか。

長崎市稲佐に「お栄さんの道」と刻まれた記念碑が建ち、そこには次のように記されています。

〈「稲佐お栄」と親しまれた道永栄は万延元年（一八六〇）天草四郎時貞で有名な天草大矢野島で出生、十二歳の頃来崎し、シベリア・上海へもロシアの軍艦で渡り、長崎に落着いた後はホテル業を以て国際親善に尽くした。坂本龍馬ら勤皇の志士を助けた大浦お慶、日本で始めての西洋流女医シーボルトおいねと共に長崎の三大女傑といわれる。昭和二年（一九二七）数え年六十八歳で波乱の生涯を閉じた」〉

お栄さんは大矢野町登立宇治郎田の光瀬家の出身で、光瀬家は代々庄屋を務める家柄でしたが、十二歳の頃両親を亡くし、遠縁を頼って長崎へ渡り、やがてロシア将校クラブで働く事になります。

当時の長崎市稲佐はロシア極東艦隊の基地として栄えていました。冬の間、ウラジオストックが氷に閉ざされるため稲佐を母港代わりに使っていたからです。教育こそ受けていませんが、努力家で頭の良いお栄さんはじきにロシア語も覚えます。

「オロシアおエイ」のスタートです。

ニコライ皇太子を接待

私が所持している二葉の写真があります。二十一歳の頃と四十歳の頃のお栄さんです。なかでも二十一歳頃のお栄さんはとても明治初期の女性とは思えません。現代でも立派に通用する美人です。ロシア艦隊のアイドルとしてペテルブルグ（現レニングラード）まで聞こえたという話も頷けます。

昭和四十九年、宝塚劇団が有馬稲子主演「鶴の港長崎異人館」と題してお栄さんの生涯を劇化し好評を博しました。こうした場合、実在の人物と演じる人物とでは相手はやはり女優さんです。魅力という点では、どうしても舞台の方に軍配があがってしまいますが、でもお栄さんに関しては勝るとも劣らない、それほどの美貌の持ち主でした。

しかし、お栄さんの真の魅力は美貌ではありません。長崎の郷土史家・原勇氏は「お栄さんは路傍に額づく乞食の心も、玉座にある皇帝の心もちゃんと心得ていた。それほど人心の機微をつかむことができ、またどんな難関にぶつかっても平気で突破前進し、どんな事業でも成し遂げるだけの才能と勇気と忍耐と意志の力をもっていた」と感嘆しています。私も親戚の直江ヤス子さん（登立）から聞いた一つのエピソードを思い出します。

それは子供の頃、ヤス子さんが魚屋を訪ねた印象として「狭くて汚かった」と答えたとき、お栄さんから厳しくしかられ「親のしつけが悪い」とも言われたそうです。お栄さんはホテル業で大成功を納めますが、終生どんな相手にでも分け隔てなく接する心の持ち主でした。

そのお栄さんのハイライトというべきは、おしのびで来たロシアのニコライ皇太子の接待役を務めたことです。持ち前の開放的で洗練された社交性で見事に民間外交官の役を果たしました。

皇太子はその直後に日本人に斬りつけられる「大津事件」に遭遇するだけに、お栄さんの心からのもてなしが唯一の思い出深いものになったに違いありません。

（資料提供…郷土史家　水野敏行　上天草市老連会長）

※ロシアに関するお話は、お栄さんだけでなく、高浜出身の赤崎伝三郎が、マダガスカルでいち早くバルチック艦隊の動きを日本国に伝えて、戦勝に導いた大功績がありますが、改めてご紹介します。

ロシア最後の皇帝
ニコライ２世
1868年5月18日
～1918年7月17日

どがんかせんば！

高齢者が安心して暮せる仕組み

会社のそばで帰り道が分からずにウロウロしている老人の世話をして、ようやくご自宅にお連れした時、初めて天草の現状を知った！

天草エネルギー株式会社　新田雅之 副社長
熊本県ＬＰガス協会常任理事・天草支部長

きっかけは高齢者の徘徊

市街地より天草空港に向かう、空港通りの左手に「天草エネルギー」というプロパンガス会社の副社長新田雅之さんには、忘れられない出来事があります。

数年前、会社の前の通りを、何度も行ったり来たりウロウロしている高齢者がいました。

心配になって、近づいて、「どうかしたとですか？」と尋ねると、

「家に帰る道が分からん…」と、とても不安げな答えでした。

新田さんと社員は、とっさに認知症だと判断し、会社でお茶の接待をして、詳しく事情を聞いて社協に連絡し、無事にご自宅にお帰しした事がありました。

今まで認知症老人の徘徊の話を聞いてはいたが、他所事だと感じていた。でも実はとても身近で深刻な問題だと感じました。

それから、自分なりに何かしたいと、高齢化の問題を調べ、行政や社協の講習会等に積極的に参加して、学び続けました。

訪問を主とする自社業務の中で、高齢者の見守りが、どうにかできないかと試行錯誤。

そして、ようやく「これならきっと、高齢者の見守りにお役に立てる」という仕組みができました。

その仕組みとは、人と人とが温かくふれあい、信頼の関係でつながる安心・安全の「見守りサービス」です。

これが自慢の「見守りサービス」！

天草市地域福祉ネットワーク事業に協力

平成23年2月25日、天草市社協と地元の協力事業所が中心となり、天草市と行政区・民生委員等の連携・協力により「天草市地域福祉ネットワーク事業等協定を締結しました。

これにより、天草市内の郵便局や新聞販売所、ガス会社など23の事業所（当時）が、日常的な声かけや見守りを行うことで、異変や困り事の対応を行う仕組みができました。

天草エネルギーは、その取り組みに積極的に関わっています。

3つの優れた仕組み

天草エネルギーは、独居老人や、高齢者の夫婦が、安心して暮せる仕組みを、ガス販売事業とは別に新しく立ち上げました。

このサービスは、天草に在住の人なら、誰でも活用でき、また天草に親が居て、離れた地域で暮らす親族の代わりに見守る仕組みとしても存分に活用できます。

（※現在の対応エリアは、牛深町、御所浦町を除く天草市内で、順次拡大予定です。）

そこには、３つの安全安心の仕組みがあります。

見守り連絡システム

独居老人の一番の心配は、脳梗塞や心筋梗塞や持病で、突然倒れた時の対応です。

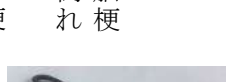
そんな時に、家の中に３つの便利な機器を設置することで、早期に対応できます。

一つは、「お元気センサー」という携帯電話より小さな熱の動きを感知する赤外線センサーを寝室と玄関等の天井に設置し、人の動きが一定時間なかったら24時間対応のコールセンターからの連絡で、スタッフが安否確認に伺います。

お元気センサー

もう一つは、自分で異常を知らせるための「見守り連絡装置」という弁当箱サイズの装置に、「緊急ボタン」「相談ボタン」がついており、それを押すと状況に応じてスタッフがかけつける仕組みです。

見守り連絡装置



ペンダント型連絡機

また、体調が悪い時、携帯して異常を知らせる「ペンダント型連絡機」も用意しました。

この３つの機器により、何か異常があればすぐにスタッフが安否確認に直行します。

「お元気センサー」は、遠くに離れている親族が、ご自宅のパソコンでも安否を確認できるため、頻繁に電話しなくても大丈夫です。

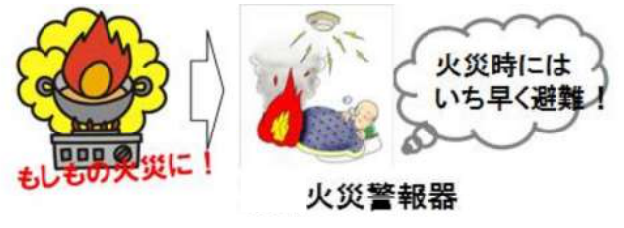
定期訪問サービス

さらに毎月一度、スタッフが訪問して、電球の取替えや、重い荷物の持ち運び等お世話をし、暮らしの悩み相談にのります。

常に不安を抱える高齢者に対して温かいコミュニケーションを通して、安心して暮せるように支援致します。

見守り機器の設置

また、火災を知らせる「火災報知機」と暗い廊下を歩く時、人の動きで自動点灯するＬＥＤの「お元気センサーライト」も設置し、安心して暮せるようにサポート致します。



火災警報器

お元気センサーライト

絶大な信頼感！　お客様　喜びの声

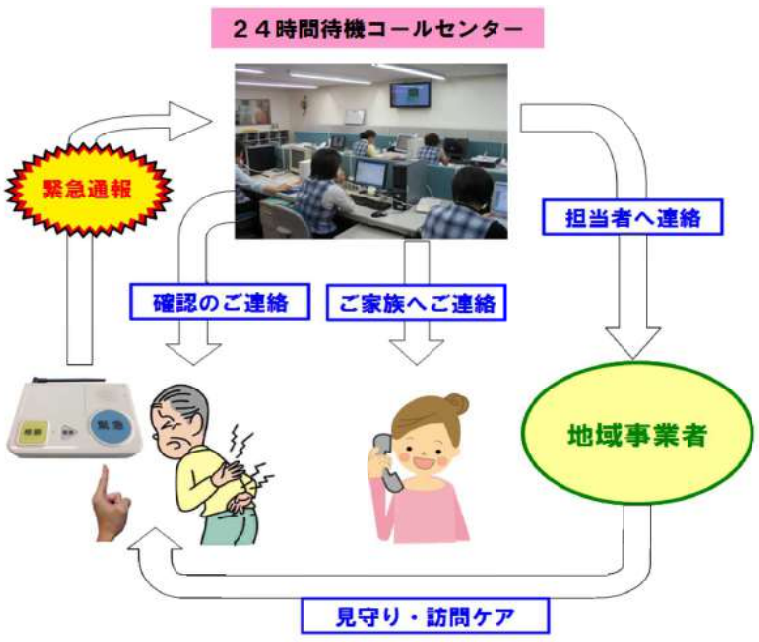
毎回、声掛けもされています。そういった積み重ねがあって、使う側からすると、とても安心しています。（栖本町　63才）

本当は、口座振替にしたいのですが、毎月一回顔を合わせるのを長年の楽しみにしています。これからもよろしくお願いします。（志柿町　58才）

頼りにしています。社員の方々のご親切・笑顔・お心、どんなに私たちの力になっていることでしょう。生きる力を頂いています。（南新町　82才）

日々御見かけする貴社様の車、安心感を持ってみています。…この安心感を有難うございます。（五和町　71才）

※ご利用者様アンケートの一部です



見守りサービス利用料

見守り連絡システム
見守り機器の設置
定期訪問サービス

月々わずか
2，980円
（消費税抜き）

初期登録費20，000円 → キャンペーン10，000円！

お問合せ
〒863-0002
天草市本渡町本戸馬場2200-5
受付時間　平日8:30～18:00
天草エネルギー株式会社
フリーダイヤル
0120-362-426

高野山詣で 開創千二百年 記念大法会年

高野山は、伊勢神宮と共に古（いにしえ）より日本人に愛された聖地
誰もが一度は詣りたいと思う寺院
百七十年ぶり再建された伽藍中門
四天王像の大修復、秘仏御開帳など
日本中が世紀の高野詣でに賑やかになる

高野山　奥の院

天草八十八ヶ所霊場復興特別企画　高野山開創1200年記念・高野山参詣と京都三弘法まいり

高野山開創間創１２００年

平成２７年、高野山は弘法大師空海の手で密教の道場が開かれて
から１２００年目を迎えます。この記念すべき年に高野山では５０
日の間、弘法大師空海が残した大いなる遺産への感謝を込めて絢爛
壮麗な大法会が執り行われます。
弘法大師は都の喧噪を遠く離れ、高野山を密教の道場建設の地と
して選びました。国、社会の安泰を永遠に祈り、多くの人々の幸福
のために活躍しうる人材を育成したいという思いが弘法大師を突き
動かしました。
１２００年という大きな節目を迎え次の百年、千年への新たな時代への扉が開かれます。
高野山では記念大法会を中心に、その歴史、魅力をお伝えする催事の数々を準備して皆様をお待ちしています。

伽　藍

東寺五重の塔

三弘法詣りとは

お大師様（弘法大師空海）にゆかりのある京都の三ヶ寺の巡拝で、江戸中期よりはじまり、特に京都では巡礼の出発前に無事を祈ってお参りし、帰ったら必ずお礼参りを致します。
また、その年一年の厄を逃れることができるという風習があり、毎年多くの方々がお参りにあがられます。

感動のお礼参り（千原逸江さん）

私は、昨年から天草八十八ヶ所霊場巡りを続けてきましたが、いよいよ結願となり、東寺と高野山にお礼参りに行くのをとても楽しみにしています。
松本明慶大佛師によって修復された伽藍中門の四天王像がお姿をこの目で見れるのは、一生に一度の機会と思い、その日が来るのを待ち焦がれています。

今年は高野山開創1200年記念の年です。宗旨宗派を問わず広い心で抱いて下さるお大師様に手を合わせてみませんか!?

歩き、観光バス、マイカーと色々ですが、公認先達と一緒に歴史、自然、地元の方々の温かさに触れながら巡る旅はきっと心穏やかになれると思います。皆様の心の中にもお大師様はおられるのでは？

四国八十八ヶ所公認先達　大矢みゆき

■旅行期間　：　平成27年4月20日(月)～4月23日(木)　3泊4日
■旅行費用　：　49,000円　■募集人員：45名《最少催行人員20名》

期　日	日程のあらまし
4/20(月)	天草12:00頃 ＝ 《高速道》 新門司港～～～船中(泊)※夕食・朝食共にレストラン ※２等室(15名部屋)となります。別料金にて等級アップできます。
4/21(火)	～～泉大津港 ＝ 高野山（奥の院・金剛峯寺・壇上伽藍・法会・昼食）＝琵琶湖温泉(泊)
4/22(水)	ホテル ＝ 京都三弘法まいり【東寺・仁和寺・神光院】＝ 嵐山散策 ＝ 泉大津港～～～船中(泊)　※夕食・朝食共にレストラン
4/23(木)	～～新門司港 ＝ 《高速道》＝　天草　13:00頃

旅行企画実施・申込み
熊本県知事登録第 2-54 号　(社)全国旅行業協会会員
株式会社 日本内外旅行天草営業所
〒863-0021 天草市港町 10-19
TEL0969-22-6000
総合旅行業務取扱管理者 西本 茂　担当者 西本 茂

★お部屋は、定員利用が基本となります。（和室の場合４名１室、洋室の場合２名１室）その他２名１室、３名１室利用の場合は追加料金必要です。
★総合旅行業務取扱管理者とはお客様の旅行を取り扱う営業所での取り引きに関する責任者です。この旅行契約に関し担当者から説明にご不明な点があればご遠慮なく記載の取扱管理者へお尋ね下さい。※詳しい旅行条件書をお渡しいたしておりますので事前にお確かめの上お申し込み下さい。

里湯昔話
雄山荘
Satoyumukashibanashi Yuzanso

名湯おごと温泉の高台に建つ、琵琶湖の見晴らしが美しい宿。山野草が彩る館内は滋賀県「近江の昔話」をテーマにし、一歩足を踏み入れると趣たっぷり。しっとりと肌に滑らかな温泉は「弁慶の引き摺り鐘」「天女の舞」とそれぞれユニークな名前の付けられた広々とした大浴場のほか、総檜造りの露天風呂で思う存分楽しめる。客室はすべて湖側で、10畳の純和風のスタンダード客室が基本となります。

連載

ペマ先生のブータン王国の幸せ通信

第3回「精神と物質のバランス」が幸せの条件！

物質の豊かさだけを追求しても、幸せにはなれない。幸せは、「精神と物質のバランス」の取れた状態であり、人の心を喜びで満たす文化がなければ、いくら環境を整えても、幸せな社会はできない。

幸福とは何か？

この連載も三回目を迎えることになりました。今、日本では各地方政府だけでなく中央政府の方までがブータンの「国民総幸福度」の理論と実践に強い関心を持ち始めています。荒川区を初め、いくつかの行政機関は、ＧＮＨ（国民総幸福度）の理念を実際の政策に活用しています。このことは大変喜ばしい現象であり、心より敬意を表したいと思います。

幸福値は、国、文化、時代によって異なることは言うまでもなく、完全なる基準は存在せず、相対的な価値としての捉え方が大きいと考えます。従って原点である「幸福とは何か」という事に関して絶対的な権威は存在しません。

しかし、ＧＮＨの提唱者である、ブータンの第四世国王陛下は熱心な仏教徒であり、仏法の忠実な実践者であるという前提から考えて見ると、日本の研究者や行政官たちの場合は少し形式に重点を置きすぎているような感じがします。それと時間と空間を限定しすぎているような側面があるようにも見受けられます。

ペマ・ギャルポ先生　ジグミ・ケサル・ナムゲル・ワンチュク国王

精神と物質のバランス

第四世国王陛下が重視なさっているのは「精神と物質のバランス」、つまり幸福は量で測ったり、手渡し出来るようなものではなく、対象者が感じ取るものだということです。従って行政や国、他者からできることは、幸福を感じるような環境を整える手伝いまでで、幸せを感じ取ることができるのは享受者のみであり、その享受者の精神性が大きく関わってきます。

例えば、日本の大きな社会問題である高齢者の問題、少子化の対策として、行政や他人が思いやりと誠意を持って衣食住プラス医療を提供することはできます。恐怖と不安のない社会環境を確保していくこともできます。これらの条件は人間が生きていく上で不可欠な条件で有り、極めて重要な要素であることは間違いありません。人間以外の動物であればこれで十分かもしれませんが、人間はそれだけでは済みません。人間には自尊心、尊厳があります。そしてこの自尊心は相対的な関係から生じるものです。特に受ける側の心理作用が決め手となります。

私達チベット仏教徒の社会からすれば、高齢者は今まで社会を支え、作って来た功労者であり、知識と経験の宝箱であって、社会の発展のため欠かせない一員です。つまり、非生産的な過去の存在などではなく、現世界の指導的な役割を果たし、後世への助言をします。大家族制度、種族、部族の社会においては揉め事の解決、悩み事の相談相手、政治家、家長など、助言者として社会に貢献しています。

生きがいと誇りのある社会

以前私はブータンの高官達に、観光客だけのためではなく地方から来る人たちのために手頃なホテルを建てる事を提案し、一瞬きょとんとされたことがあります。官房長官が「地方から来る人たちは、家族、親戚、友人、知人、同じ村の人、同じ部族が泊めるので、ホテルに泊まる人は非社交的な人と思われる」と説明して下さって納得がいきました。人間はそれぞれの立場で社会を支えており、結果的に調和の取れた社会を作る事に努めています。ただ、日本の場合は核家族化が進み従来の文化が破壊されたため、もう一度大家族制度、村、町の伝統や文化の回復が必要かもしれません。

最近各政党は政治家に71歳の年齢制限を設けていますが、私はむしろ候補者の年齢を10年ずつ引き上げて、頭と身体が元気であれば経験豊かな先輩達に国を引っ張っていただいた方が、議員になって勉強するような素人に任せるよりも成果が上がるのではないかと思います。同様に働き手、納税者が足りないと言うのなら、定年の年齢を上げ、働く意欲と体力さえあれば納税者になって社会の活動要員になっていただくことも一つの考えではないでしょうか。幸福度が高い社会とは、人それぞれが社会の一員として生き甲斐や誇りや自尊心を持って生きる社会のことではないでしょうか。

（原稿執筆　ペマ・ギャルポ先生）

倉岳町が日本ではじめての幸福量全戸調査実施予定

本年6月より、天草市倉岳支所と天草市社会福祉協議会倉岳支所が協力して、倉岳町全戸調査（約1，200世帯）を行う準備が進められている。

２０１２年、熊本県は蒲島県知事がマニュフェストで「県民総幸福量の最大化」を県政の最重要課題に掲げて二期目をスタートした。

以来、くまモンを企画課のしあわせ部長に任命して、県民の幸福量の増大に尽力している日本で最も幸福量研究の進んだ県だ。

その熊本県下で、天草市は同じく１０１２年にブータン王国よりカルマ・ゲレ上級企画官を招いて、「市民の幸せを考えるシンポジウム」を開催し、市民の幸福量調査にも積極的に取り組む先進地の自治体だ。

その天草市倉岳町で、日本ではじめて住民の幸福量全戸調査を、行政と社協が協力して行う。

これまで日本の自治体での幸福量調査は、郵送して回収するアンケート方式がほとんどで、幸福量研究の先進地の東京都荒川区でさえも、全戸調査は実施していなかった。

戸別訪問をしながら、直接住民の生活状況を見て、生の声を聴いて、幸福量調査をすることにより、より正確で深い内容の生活の実態と住民のニーズが把握できる。

さらに、調査結果を基に、行政と社協の関係部署が次年度の事業計画に反映させる画期的な試みで、これには熊本県や荒川区も注目している。

戸別訪問によって正確な聞き取り調査をする取り組みは、上天草市社会福祉協議会が、高齢者を見守る小地域ネットワークの立ち上げた実績を参考にする。

また、この調査は天草市の行政職員の新人研修としても取り組む予定で、職員に採用されて２～３年の職員が住民と直に接して、その声を聴くことで、行政職員の使命を自覚し、目的意識と職務能力の双方を養う計画を立てている。

ブータン王国首相顧問
ペマ・ギャルポ先生

桐蔭横浜大学　大学院教授・国際政治学者・１９５３年チベット生まれ、１９６５年来日。チベット文化研究所名誉所長、岐阜女子大学名誉教授

カトリック大江教会

ガルニエ神父は、生涯一度も母国フランスに帰らずに渡航費や私費をすべて大江教会の建築に当てた。

カトリック崎津教会

世界遺産に推薦された

天草は、キリスト教会も、寺院も、神社も、宗派を越えて、お互いに認め合い、仲良くする奇跡の聖地で、お遍路さんが教会にお参りする。

キリシタン巡礼の地

根引きの子部屋

高浜、大江、崎津のちょうど真ん中当たりの矢筈岳の中腹に「根引きの子部屋」の跡地がある。数あるキリシタン遺跡でも、ここを訪れる人はあまりいないという。

こんな山の中に孤児院を建てて、恵まれない境遇の子ども達を養った聖職者たちの真心とご苦労に心を打たれます。

信徒さんたちが丹念に整備した「十字架の道行き」には十四留の碑が立っていて、イエズスが十字架に張り付けられて天に召される場面を追体験できるようになっています。

自分の命より大切なもののために、命を奉げられたイエズスと、同じように殉教した多くの人々たちの聖地です。

「根引きの子部屋」は、心が洗われる天草の聖地です。

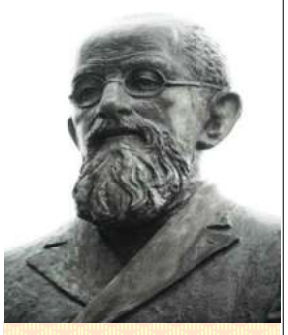
幸せを説く聖職者

カトリック崎津教会
カトリック大江教会

渡辺　隆義　神父

天草の弱者に生涯を奉げたガルニエ神父の心

渡辺　隆義　神父



明治の五人の文学青年が、険しい道も厭わずやってきた大江教会には、孤児たちと共に生きる本物の聖職者がいた。同じ大江教会に赴任したガルニエ神父を敬愛する渡辺神父に、幸せについてお尋ねました。

米国で感じた日本人の誇り

私は、日本だけでなく外国にも赴任しましたが、最も長かったのは米国で、十五年間居ました。

そこで感じたのは、米国人の日本人に対する尊敬の念でした。

いまから二〇年ほど前ですが、私は全く知らなかったのですが、信者の子どもたちが「タマゴッチ」で、遊んでいるんです。セガとか、任天堂等は、子どもたちの憧れのブランドで、そのゲーム機を持っているのが、自慢のようでした。

また、トヨタやホンダなど、日本ブランドに対する信頼と尊敬は、米国では大変なもので、自分が日本人であることが、とても誇りに思えました。

でも、当の日本人は、そんな意識があまりありません。

もっと自国の文化や歴史に対して誇りを持ったら、日本人である、喜びを感じると思います。

幸せって、何ですか？

私は、その人が誰かから必要とされている、信徒さんにも、身体が不自由で介護施設に入っている高齢者がいます。

私は、その人の所へ行って「あなたを必要としている人がいるから、その人のために生きて下さい。」と、常に言い続けています。

体に障がいのある人や、年老いて弱った人たちにとって、自分が人から必要とされていると思える事ほど、大切な事はありません。

昔の大江教会のガルニエ神父は、神父として頂く給与があるので、ご馳走を食べようと思えば、どれだけでも食べれたし、裕福な暮らしもできました。

でも、ガルニエ神父は、それをせずに、貧しい家庭や、孤児たちのために、大江の教会に赴任してから生涯一度もフランスに帰国せず、すべてを恵まれない人たちのために奉げ、亡くなる時には「墓を作る金で、病人や難儀している者に与えてくれ。皆に大そうお世話になった。」と言葉を遺して安らかに息を引き取られました。

ガルニエ神父は、決して上から恵んであげるような姿勢ではなく、教えに沿って村の人たちとお互いに分かち合いながら生きる道を生涯お通りになりました。

分かち合う心の大切さ

ガルニエ神父は、貧しい家庭の子ども達を預かって、外で働けるように養育しました。

村人たちに、衛生の知識を与えたり、宗教の大切さについて語るなどして、生涯を奉げられたことを思うと、同じ立場にある私は、本当に赤面してしまう位です。

今の日本では、物やお金に満たされていますが、心が満たされている人が少ないと思います。

自分のことしか考えない人は、どれほど物があっても、人に分かち合うことができません。それが心の貧しさです。

貧しくても、お互いに分かち合いながら幸せに生きることができます。

物やお金があるなしという事より、お互いに分かちあう心があることが、世の中の幸せになるのではないでしょうか。

故郷応援賛歌！東京天草郷友会

橋を渡るとほっとする！

関東在住の天草出身者の集まり、「東京天草郷友会」第17代会長で、現在横浜で建設会社を経営されてる藤川博祥{（株）藤川工務店会長}さんに、故郷への厚い想いを語って頂きました。

東京天草郷友会
藤川博祥　会長

橋を渡ると、ほっとする

私は、今までずっと仕事づくめで都会で働いてきましたが、年に数回故郷へ帰ります。その時、天草五橋を渡る度に、ほっとします。

この年になって、故郷を想う気持ちがとても強くなり、「天草は、昔の天草のままであってほしい」と、思うようになりました。

もちろん、天草に住む人たちの生活の利便性を考えると、不自由な暮らしではいけませんので、快適な暮らしになりながらも、昔の天草らしい良い風情をずっと残してほしいですね。

私の故郷の小宮地には、家の近くに神社があり、そこに大きな楠がありました。

子どもの頃、近所の友達とその楠のそばで楽しく遊んだ思い出がいっぱいあります。

しかし、最近その楠が切り倒されてしまい、楽しかったった故郷の思い出が、消されたようで、寂しいです。。

天草は、かけがえのない自然豊かな故郷で、素晴らしい景色や、新鮮な野菜や魚介類が豊富で、人情味が豊かで、決して都会にはない魅力がいっぱいあります。

横浜に来たきっかけは

私の故郷は、新和町（現天草市）の小宮地でしたが、昭和３０年代当時、出稼ぎした父の後を追って横浜へ来ました。

昔は、兄弟姉妹がとても多くて、どこの家でも出稼ぎで、故郷を跡にした人たちがたくさんいました。

私は、天草を離れて五十年経ちますが、最初は横浜で主に建設業関係の仕事を父と一緒にしてきましたが、私が二十四歳の頃に法人化しまして、現在は八十人余りの従業員を抱える会社の経営をしております。

天草の良さを伝えたい

郷土天草を離れた天草出身者は、全国にたくさんいて、我々の世代が、最も多いのではないかと思いますが、現在はみんな高齢化しています。

私もこちらで結婚して、家を建て、子どもや孫ができたのですが、子どもたちは、私ほど天草を思う気持ちは強くありません。

それは、妻には妻の故郷があり、子どもたちの配偶者にもそれぞれ違った故郷があるから当然なことです。

でも、私自身は、自分を生み育ててくれた故郷・天草がたまらなく好きです。だから、天草の良さを、どんどん家族に伝えたいと思います。

天草に住む人たちは、意外と天草の良さを自覚していないかもしれませんが、私からすると、もっと天草の素晴らしさを天草に住む人自身が知り、それをあちこちで自慢してほしいのです。

それが、私たち故郷を離れた人間にとっても、大きな励みになります。

そして、自分の家族に天草を自慢できて、天草へどうでも連れて行きたくなります。

素晴らしい天草人としてのＤＮＡを継いでいけるよう郷友会活動の中にも活かしていきたいです。

１２月１４日（日）恒例（４回目）の餅つき大会

当会と「関東ふるさと新和会」と協賛で会員その家族を含め１８８名の参加者でにぎわいました。昔取った杵柄で息子に杵の扱いを教え、孫がパパがついた餅を頬張り、爺婆たちは新和の海で養殖された７０Ｋ超のマグロの刺身で年忘れの一杯！楽しいひと時でした。

【東京天草郷友会の歴史<発足>】(HPより)

東京天草郷友会は、明治8年（1875年）に上京した竹添進一郎さん（大矢野町）と、明治30年（1897年）に上京した中井励作さん（五和町が中心となって、『天草出身者の親睦と互助』を目的として発足されたとのことです。

正確な記録ではありませんが、明治44年（1911年）には神田淡路町の宝亭（西洋料理屋）で現在の総会・懇親会に相当する会合が開かれております。

発足から百余年、第1回の総会懇親会に相当する集いから「百年」、戦前の活動記録はほとんどありませんが、郷土と東京の橋渡し及び東京を中心とした地域の天草出身者の互助、情報交換、郷里からの上京者の支援が主な活動と思われます。

＜東京天草郷友会紹介＞

東京天草郷友会は、関東地区に住む天草(熊本県)出身者の集まりです。会員相互の親睦と互助を図り、かつ郷里天草の発展に寄与することを目的としております。天草出身の方、天草にゆかりのある方は、是非ご入会ください。

【お問合せ】東京天草郷友会　事務局
〒223-0056　横浜市港北区新吉田町5780
電話 045-620-0426　FAX　045-593-3018
E-mail：　info@amakusa-gouyuukai.com

東京天草郷友会　検 索　ネットで検索

故郷へ貢献しながら自分もハッピーになる ふるさと納税

例えば、故郷に3万2千円寄付したら、3万円プラスお得なお礼の品が返ってくる

知れば知るほどお得なふるさと納税の仕組み！

ふるさと納税は、故郷の自治体に寄付した金額を、翌年度の所得税と住民税の控除によって還付する仕組みです。（確定申告が必要）

寄付金の額に関わらず**実質負担は２千円のみ**で、あとは**全額返金**、その上とっても**お得なお礼の品**までついて来ます。（※ただし、住民税の特例控除は、所得割の１０％が上限です。）

この仕組みを上手に活用して、故郷の地域振興に貢献しながら、自分もリッチな生活している人がいます。

詳しくは、天草の各自治体にお問合せ下さい。

ふるさと応援メッセージ

天草を離れ30数年たちましたが、思い出さない日はありません。最近よくテレビにとりあげられ嬉しいです。年老いた両親が元気に過ごせる街と、若い人達も未来が描ける街でありますように…ささやかな寄附ですが、遠くから応援しています。（東京都在住50歳代）

昨年の夏、初めて天草を旅行しました。歴史的な価値、素晴らしい自然、海洋生物との出会い、豊かな食材など、日本に残る数少ない天国だと感じました。何より、現地の方たちとの温かいふれ合いに心から癒されました。岡山県出身で神奈川県在住の私ですが…僅かではありますが応援の気持ちを込めて寄付させていただきます。（神奈川県在住50歳代）

仕事で疲れ切って帰省するときに迎えてくれる、地元の仲間たちと海と山の大自然は心の底から私を癒してくれます。そんなパワースポットでもある地元天草に少しでもお礼したいと思い今回の寄附を決めました。今後とも少しでもお役に立てるように、恩返し出来るように頑張って行きます。（東京都在住30歳代）

私は崎津生まれで先祖代々カトリック信者です。昔は地元に仕事がなかったので高校卒業して愛知県に来ました。18歳まで通った崎津天主堂、ベランダから見える満点の星、天の川、水平線に沈む夕日、イルカの群れ、透き通る青い海、きれいな魚、岩の上に立つマリア像、思い出して胸が苦しくなる時があります。すばらしい崎津の町が世界遺産に登録されるよう応援してます。（愛知県在住40歳代）

天草市　天草市ふるさと納税　検 索

寄付金は、"天草の宝"①地域コミュニティづくり、②安心して元気に暮らせる環境づくり、③将来を担うこどもづくり、④若者が安心して働ける産業づくり、⑤拠点づくり、⑥市長おまかせコースに用い、感謝状と今年４月から金額に応じたお礼の品をお届けする予定です。

【お問合せ】
０９６９－２３－１１１１
財政課ふるさと納税係

感謝状　お礼の品

上天草市　上天草市ふるさと納税　検 索

寄付金は、地場産業の育成、観光振興、教育水準の向上、安全安心なまちづくり、ふるさと環境保全、その他市長が特に必要と認める事業に用いられ、寄付者には感謝状をお届け致します。

【お問合せ】
０９６４－５６－１１１１
財政課ふるさと納税係

感謝状

苓北町　苓北町ふるさと納税　検 索

寄付金は、安心安全快適なまちづくり、地場産業の育成振興、ふるさと自然環境保全、ふるさとの歴史伝統文化継承、その他町長が特に必要と認める事業に用いられ、感謝状と、金額に応じたお礼の品を用意しております。

【お問合せ】
０９６９－３５－１１１１
総務課ふるさと作り寄付金係

感謝状　お礼の品

薫堂（くんどう）さんのお父さん

人は知らず知らずのうちに
最良の人生を
選択しながら生きている

小山清嗣（こやまきよし）

父がいつも僕に言っていたのは、「やらずに後悔するよりも、やって後悔した方がいい」ということと、「人は知らず知らずのうちに最良の人生を選択しながら生きている」ということでした。

つまり、いまどんなに悪いことが起こっていても、それは、この先いいところに辿りつくための回り道みたいなものだと。いまがあるから、その先にもっと良いことがあるんだよ、と聞かされて育ったんですね。実際、僕も大人になって、本当にその通りだなと実感しています。

人生というのは、選択の連続でていきます。たくさんの可分岐していきます。たくさんの可能性という枝が分かれているのですが、自分はその中でも、たくさんの光が届く一番よい枝を選びながら進んでいるに違いない、と思うことです。

小山薫堂著
『小山薫堂幸せの仕事術』より

小山薫堂さん

天草出身の放送作家、脚本家、ラジオパーソナリティ。 株式会社オレンジ・アンド・パートナーズ代表取締役社長 兼 N35 inc代表、東北芸術工科大学教授、株式会社下鴨茶寮代表取締役社長。くまもとサプライズ企画者。
熊本県天草市（旧本渡市）出身。天草市立本渡中学校、熊本マリスト学園高等学校、日本大学藝術学部放送学科卒業。
天草を愛することこの上なく、今年1月12日号『ＡＥＲＡ（アエラ）』で特別編集長となり、本渡第一映劇の記事を５頁にわたり掲載。

高倉健さんが本渡第一映劇を訪れた思い出に感謝を込めて高倉健 追悼上映『ありがとう健さん』を２月～６月までの間、計１０作品の代表作を上映！

この追悼上映会に際して、一口１万円のカンパ（募金）を募っています。カンパしてくださった方には、フリーパスカードを差し上げます。このカード提示で、期間中（２月～６月）上映の１０作品すべてがご覧になれます。パスカードは、健さんの写真や、第一映劇のために書いてもらったサインを載せたものなどからお選び頂けます。また、４人まで３千円で入場できる「４人組券」ももれなくプレゼントします。
詳しくは
☎ ０９６９－２３－１４１７　本渡第一映劇　柿久まで！

めいどサロン小山屋のご紹介

めいどサロンの中で、一番街中にある中央新町の小山屋は、むかし美容院だっただけに、とってもおしゃれなお茶のみ休憩所！

小山屋には、美しいドレスや着物が飾ってあります。また、素敵なかんざしや、おしゃれな小物類もたくさんあり、センスの良い女性にとっては、すごく気にかかる場所です。

「料理の鉄人」「ハンマープライス」「おくりびと」「くまモン」等など、次々とヒット作品を手がける小山薫堂さんの実家だけに、薫堂さんに関する本類も揃っています。

中央新町の諏訪神社の前の通りにある元ゆり美容院が「小山屋」になっていますので、どうぞお気軽にお茶のみにお立ち寄りください。

お越しの際は、お電話でご予約を！
めいどサロン 小山屋
お茶休憩 300円～
予約 0969-23-8888（小山）
天草市中央新町18-14

くまモンの幸せ対談 第三談（堀江隆臣上天草市長との対話）

上天草市民の幸せって？

熊本県しあわせ部長くまモンが、新しく就任したばかりの堀江隆臣市長（上天草市）に、ズバリ「上天草市民の幸せ」についてお聴きしました。

堀江市長の描く、上天草市の幸せな未来図とは？

熊本県しあわせ部　検 索　「熊本県しあわせ部」の活動を閲覧！

地域の絆を大切さ

私は、昔6年間ほど大手の住宅メーカーでサラリーマン生活の経験がありました。

その時は、バブルの全盛期で、給料も割と高かったが、毎日夜の12時前に帰宅したことがなく、夜中の1時、2時位まで、土日も返上で働きづくめでした。

しかし、姫戸で小さな瓦屋を営んでいた父が病気をして、地元に帰ってくることになりました。

正直言って、収入はものすごく減るんです。その分、時間的に余裕が出てきたんですね。

サラリーマン当時は、仕事以外の人のつながりはほとんどありませんでした。ところが、地元に帰ってくると、地元の人たちとのふれあいの機会がとても増えてきたんですね。その中で、いろいろなことを考えました。お金がたくさんあれば、本当に幸せなのか？とかですね。

人っていうのは、独りでは生きて行けないじゃないですか、いろいろ悩んだときに、話し相手がいて、相談すると悩みの6割は減ると言われていますが、やっぱり人とのつながりは、とても有意義で、それが幸せにつながると思います。

路上生活者がいない天草

今の地元の若い世代は、地元に雇用が少なくて、高齢者を世話する介護職が多いですよね。よく3Kとか言って、若い人たちはそんな仕事を嫌い、都会に憧れて、出て行こうとします。

でもよくよく考えてみると、都会に行けば、生活費は高くて、知った人は少なくて、とても大変なんです。それに比べると、地元では収入は少ないけど、生活するには十分に暮らして生けます。

天草では路上生活者など見たことはありませんね。でも、東京、大阪、熊本でも路上生活者がいますよ。

天草は最低限の生活をみんなの協力で守れる地域なんですね。これは、とても素晴らしいことだと思います。

だから、自分は人と人とのつながりがあって、安心して暮らせる天草に帰ってきて、本当に良かったと思っています。

現代社会は、ストレス社会だと言われますが、どうやって解消していくかが課題ですね。それは、悩みを共有してくれる人がいると解決できます。

そういう意味では、田舎というのは、とても密な交流があっていいなぁと思います。

未来の子どもたちへ残したいもの

私は、学生時代姫戸から八代に船で通っていました。その時、船の上から見るとですね、ほとんど護岸に囲まれていて、自然のまま砂浜の景色が少なくなっています。ほんとうにびっくりしますよ。

美しい天草の海岸線の景観がそこなわれているんです。意外とそのことに天草の人たちは気がついていないんですね。

ある程度の整備は必要だと思います。整備や発展をすべて否定するつもりはありません。だけど、やっぱり美しい自然の砂浜の景観などは、次の世代にも残していきたいです。

天草へ帰ってくるUターン、Iターン、Jターンの人たちも、天草の素晴らしさを感じるから天草に来たいと思うはずです。都会と同じようにすべてコンクリートで整備されてしまえば、天草らしさが消えてしまいますからね。

だから、インフラ整備もしながら、天草の景観もちゃんと残すバランスの取れた環境整備をして行きたいです。

漁業、農業などの第一次産業はもちろんですが、天草の美しい景観も次の世代に残して生きたいです。

それから、次代を担う次の世代の人材を育成して行きたいです。そのために、若者が天草で働けるようにする。

そのためには、交流人口を増やして、地元に人が来るようにして、産業を潤すことが大切ですね。

そこで、地域にある人や物や伝統文化という資源を活かしたいです。

私たちだけの世代ではなく、次の世代に地元にある良いものを残して、つなげて行くことですね。そして、子どもたちが上天草市のことを誇りに思い、地域に貢献する人材を教育によって育てて行きたいです。

すると、地域が発展して、若い人材が地元に帰って来て、地域が栄えると思います。

（協力…上天草市市長公室）

上天草市社会福祉協議会

三年で約七倍になった小地域ネットワークが全社協から表彰される

上天草市社協の調査風景

小瀬戸地区での説明会

上天草市社会福祉協議会は、高齢化が急激に進む地域社会の弱者を見守る小地域ネットワークの仕組み作りに積極的に取り組んでいます。

小地域ネットワークとは、向う三軒両隣の精神で、多くの高齢者が暮らす地域で、お互いに声を掛け合い、困ったことがあれば住民同士が助け合う仕組みです。

上天草市社会福祉協議会では、深刻化する高齢化社会の問題を解決するために、職員の戸別訪問によって暮らしの困りごとを入念に調べるニーズ調査を行いました。

その後、個人で解決できる問題（自助）と、地域で解決できる問題（共助）と、公的機関で解決できる問題（公助）を分析し、その結果を各地域で発表し、小地域ネットワークの立ち上げを次々と行っていきました。

その結果、平成22年当初、上天草市全域で、わずか十五ヶ所のだった小地域ネットワークが、三年後には百八箇所に増えて、全市的に充実した高齢者の見守りの仕組みが整いました。

そして、平成二十五年八月に、その実績が全国社会福祉協議会より評価され、表彰されています。

超高齢化社会の最先端を行く天草で、高齢者が安心して暮らせるため、戸別訪問によるニーズ調査で地域の実情を把握して、見守りの仕組み作りの取り組みは、全国のモデルとして注目されています。